

第 7 2 回（平成 2 9 年度）

公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会議案書

期 日 平成 29 年 5 月 27 日（土） 13：30～18：00

場 所 福島県立医科大学附属病院 第二臨床講義室

福島市光が丘 1 番地

Tel 024-547-1111

総会次第

司 会 県北地区

一、開会の辞

副会長 遊佐 烈

二、会長挨拶

会 長 新里 昌一

三、表 彰 功労表彰、永年勤続表彰（20年）、学術奨励賞論文賞、
学術奨励賞特別賞、生涯教育ポイント取得上位者表彰

四、総会運営委員会報告

五、議長選任

六、書記選任

七、議事

- 1.報告事項 平成28年度事業報告について
- 2.第1号議案 平成28年度決算報告について
- 3.報告事項 平成28年度監査報告について
- 4.第2号議案 平成29年度事業計画案について
- 5.第3号議案 平成29年度予算案について
- 6.第4号議案 定款改正について
- 7.第5号議案 役員改選
- 8.第6号議案 その他

八、議長解任

九、閉会の辞

副会長 平井 和子

平成28年度事業報告

総括

平成28年度は、27年度体制の継続による運営となった。東日本大震災から6年が経過して、避難解除の地区も増えて来たが課題も多く残っている。また、大分・熊本地震に対しては、会員からの寄付を含めて、両県技師会へ支援金を送った。10月には、福島県原子力住民防災訓練が今年も行われた。緊急連絡体制の訓練や避難してきた住民やバスのスクリーニングを担当した。スクリーニング等は、継続して参加している事や事前演習もあり概ね問題なく使命を果たせた。今後は未経験技師の参加を、どのように進めるかである。日本放射線技師会のサーベイチームとの関係も含めて検討が必要である。また、10月末には震災時の県内管理士の活動がNHKで全国放送された。

本会は、事業計画に基づき各種研究会、研修会、各委員会が活動を行ってきた。各地区の健康まつりやピンクリボン活動等にも積極的に参加を行い、放射線の正しい知識や検診についての啓発活動を行った。精度管理委員会では、X線アナライザーによる各施設でのX線装置出力測定を今年度も継続し、県学術大会で報告した。今後も継続して活動をお願いする。県学術大会は、時間の関係で委員会報告をポスター発表に切り替えた。発表演題39題、ポスター発表も含めて7セッションになり、会場も熱気に溢れていた。またホールでの機器展示ブースも新設した。参加会員143名、非会員6名、一般6名と盛会裡に終了した。秋田で開催された第6回東北放射線医療技術学術大会にも、県内から40題が登録された。

ネットワーク委員会と学術委員会とで、賛助会員への優遇処置としてホームページにバナーを設けて、リンク出来るように進めている。今後も会員・県民のために充実した内容、タイムリーな情報発信を進めて行く。

今年度も、計画通りに福島放技ニュースを年6回と会報1回が発行出来た。紙面も充実しており、広報編集委員会の努力の賜物と考える。現在は、表紙もカラー化して内容の濃い紙面作りを模索している。理事会や各委員会への出席に伴う往復途上の事故について、団体総合補償制度保険に加入して幾らかの補償をする事にした。今までは無事故であったが、万が一の時には少しでも補償出来ればと考えている。

技師法改正施行による業務拡大に伴う統一講習会が全国で実施された。福島県内でも各地区で1回計4回開催し、最終試験に全員合格した。診療放射線技師養成を含む福島県立医科大学の新学部設置についても、4-5年後の開校に向けて動いている。ふくしま医療機器開発支援センターの後援を行っているが、11月にはセンターの建物が郡山市に完成した。会費の未納の対応は、会の大きな課題であり、昨年度から福島県診療放射線技師会納入も独自にコンビニ収納代行サービスを導入し便宜を図っている。期限内納入について、皆様のご理解とご協力をお願いする。平成28年度も会員皆様のご支援を頂き、本会の事業を進める事ができた。ここで改めて感謝申し上げる。公益社団法人として、今後も県民の負託に応えられるように努力していく所存である。

平成28年度 会務報告

月 日	活動内容等	開催場所
H28年4月 13日	福島県薬剤師会会長と日本放射線技師会の小川副会長との面談に新里会長が同行	福島県薬剤師会事務所
4月19日	平成27年度福島県診療放射線技師会事業監査	福島県立医科大学附属病院
4月20日	平成28年度郡山医師会乳がん検診放射線技師部会	太田西ノ内病院
4月20日	平成28年度県南地区協議会全体会	ビックアイ 7階
4月21日	第7回県北地区MR勉強会	福島県立医科大学病院
4月21日	田村市「平成28年度第1回ホールボディカウンタによる内部被ばく線量測定」結果説明へ技師派遣	田村市都路町地見城多目的研修集会施設
4月22日	平成27年度第6回福島県診療放射線技師会理事会	太田西ノ内病院
4月23日	平成28年度浜通地区協議会全体会	いわき市立総合磐城共立病院
4月23日	平成28年度会津地区協議会全体会	ホテル ニューパレス
4月23日	会津画像研究会	ホテル ニューパレス
4月26日	平成27年度県北地区協議会全体会	福島県立医科大学附属病院
4月26日	新学部設置構想について新里会長と面談 (福島県立医科大学新医療系学部準備室長 矢吹教授、同主事 中原氏来訪)	太田西ノ内病院 放射線部
4月28日	平成27年度福島県診療放射線技師会会計監査 (高橋・片倉・斎藤・遊佐・新里・阿部・本田)	高橋宏和会計事務所
5月20日	福島放技ニュース 第152号発行	
5月20日	電磁的記録による臨時理事会	
5月24日	第1回福島県原子力防災通信訓練の実施	太田西ノ内病院
5月26日	平成28年度会津乳房撮影研究会	竹田総合病院総合医療センター
5月28日	平成28年度第1回編集広報委員会	郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム
5月28日	平成28年度第1回乳腺画像分科会	郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム
5月28日	福島県診療放射線技師会定時総会運営委員会	郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム
5月28日	平成28年度第7回福島県診療放射線技師会理事会	郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム
5月28日	一般公開講演会及び学術活動報告	郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム
5月28日	第71回(公社)法人福島県診療放射線技師会定時総会	郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム
5月28日	第16回福島県MRI技術研究会	福島テルサ
5月30日	平成28年度事業計画等の提出(POSSシステム)	
6月1日	あだたらライブ 2016	星総合病院
6月2日	あだたらライブ 2016	太田西ノ内病院
6月10日	日本診療放射線技師会代議員研修会	A P 東京八重洲通り

6 月 11 日	第 77 回日本診療放射線技師会定時総会 (代議員 新里、遊佐、齋藤出席)	日経ホール (東京都千代田区)
6 月 11 日	第 29 回福島県臨床画像研究会	福島テルサ
6 月 12 日	福島県フレッシュャーズセミナー	太田西ノ内病院
6 月 17 日	平成 28 年度福島県原子力防災訓練に係る第 1 回関係 機関会議	杉妻会館
6 月 18 日	福島県 C T ビギナーズ世話人会	福島テルサ
6 月 22 日	県南地区協議会委員会	ビックアイ
6 月 24 日	第 1 回福島県診療放射線技師会理事会	福島県立医科大学附属病院
6 月 24 日	平成 27 年度事業報告等の提出 (POSS システム)	
6 月 25 日	第 24 回情報通信技術セミナー (MICS)	星総合病院 [※] リス保健看護学院
6 月 28 日	第 1 回会津地区協議会委員会	山鹿クリニック
6 月 29 日	県北地区協議会 MR 勉強会	福島県立医科大学 MRI 室
7 月 1 日	第 90 回会津画像研究会	会津医療センター
7 月 3 日	第 33 回福島県放射線治療技術研究会	南東北がん陽子線治療センター
7 月 7 日	第 10 回画像診断・病院連携懇話会	ホテル辰巳屋
7 月 7 日 ～8 日	平成 28 年度 結核予防技術者地区別講習会 (東北 ブロック)	コラッセふくしま 4 階
7 月 9 日	第 14 回東北 MR 技術研究会	いわて県民情報交流センター アイナ
7 月 17 日 ～18 日	業務拡大に伴う統一講習会	竹田総合病院
7 月 19 日	福島県 MR I 技術研究会世話人会	総合南東北病院
7 月 20 日	平成 28 年度福島県原子力防災訓練に係る第 2 回関係 機関会議	楢葉原子力災害対策センター
7 月 22 日	福島放技ニュース 第 153 号発行	
7 月 24 日	日本診療放射線技師会・基礎技術講習(消化管撮影)	福島県立医科大学附属病院
7 月 30 日	平成 28 年度県南地区協議会サマーセミナー	ビックアイ
8 月 6 日 ～7 日	業務拡大に伴う統一講習会	星総合病院
8 月 20 日	第 8 回放射線管理士セミナー (神奈川県管理士部会 と合同開催)	郡山市商工会議所
8 月 20 日	平成 28 年度東北地区女性技師 WG (みちのくこまち) 第 3 回委員会	東北大学病院 星陵会館オーデ ィトリウム
8 月 26 日	平成 28 年度福島県原子力防災訓練に係る第 3 回関係 機関会議	福島テルサ
8 月 27 日	県北地区協議会夏季勉強会	福島テルサ
8 月 29 日	第 2 回福島県原子力防災通信訓練	

9月2日	第2回福島県診療放射線技師会理事会	太田西ノ内病院
9月3日	第16回福島県乳腺画像研究会	福島県農業総合センター（郡山市）
9月3日	第4回救急撮影カンファレンス	コラッセふくしま
9月8日	災害対策委員会	太田西ノ内病院
9月10日 ～11日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016	とうほうみんなのスタジアム
9月13日	ふくしま医療開発支援センターのオープニングイベント（新里会長出席）	ビックパレットふくしま
9月13日	福島県画像技術研究会世話人会	福島県立医科大学附属病院
9月15日	県北MR勉強会	福島県立医科大学附属病院
9月16日 ～18日	第32回日本診療放射線技師学術大会	長良川国際会議場（岐阜県岐阜市）
9月17日	平成28年度全国会長会議（新里会長出席）	長良川国際会議場
9月20日	福島放技ニュース 第154号発行	
9月24日 ～25日	業務拡大に伴う統一講習会	福島県立医科大学
9月26日	平成28年度福島県原子力防災訓練に係る第4回関係機関会議	危機管理センタープレスルーム
9月26日	第2回会津地区協議会委員会	山鹿クリニック
9月29日	Live配信シンポジウムCMR S 2016	いわきワシントンホテル椿山荘
10月1日	福島県デジタル画像研究会	星総合病院
10月1日	福島県消化器研究会	コラッセふくしま
10月2日	福島県原子力防災訓練の事前訓練	星総合病院3階保健指導実習室
10月8日	第25回情報通信技術セミナー（MICS）	星総合病院ポリス保健看護学院
10月14日	福島県原子力防災通信訓練	
10月15日	日本消化器がん検診学会 第9回セミナー	コラッセふくしま
10月16日	福島県CTビギナーズセミナー県北地区講習会	福島県立医科大学附属病院
10月21日	東北地域会長・教育委員会議	秋田市にぎわい交流館AU
10月22日	福島県原子力防災訓練	小野町・会津若松市
10月22日 ～23日	第6回東北放射線医療技術学術大会	秋田市にぎわい交流館AU
10月23日	ファミリーフェスタ 2016 郡山	ビックパレット
10月23日	ピンクリボン in 郡山 2016	星総合病院ポリス保健看護学院
10月23日	第32回健康まつり in 会津	会津若松市文化センター
10月27日	第91回 会津画像研究会	会津中央病院
10月28日	第29回いわき地区画像研究会	グランパークホテルパネックス いわき

10月28日	福島県診療放射線技師会 中間の監査	高橋宏和会計事務所
11月1日	平成28年度福島県多数傷病者対応訓練	福島県浪江町地域スポーツセンター
11月5日	田村市「平成28年度第2回ホールボディカウンタによる内部被ばく線量測定」結果説明へ技師派遣	田村市都路町地見城多目的研修集会施設
11月6日	平成28年度(公社)福島県診療放射線技師学術大会・一般公開講演会	星総合病院ポリス看護学院メグレスホール
11月16日	第2回県南地区協議会委員会	ビックアイ
11月17日	県北MR勉強会	福島県立医科大学附属病院
11月18日	浜通り消化器フォーラム	丸屋ホテル(南相馬市)
11月19日	福島県MRI技術研究会世話人会	総合南東北病院がん陽子線治療センター
11月19日	福島県MRI技術研究会発表会	総合南東北病院がん陽子線治療センター
11月22日	福島放技ニュース 第155号発行	
11月25日 ～26日	メディカルクリエーションふくしま2016	ビックパレットふくしま
11月26日 ～27日	業務拡大に伴う統一講習会	いわき市立総合磐城共立病院
11月28日	勉強会「読影補助の取り組み」	勤労者互助会労働福祉会館
11月30日	第1回福島県診療放射線技師会執行部会	福島県立医科大学附属病院放射線部
12月2日	第3回福島県診療放射線技師会理事会	太田西ノ内病院
12月10日	第5回福島医療の質・安全フォーラム	白河文化交流館 コミネス
12月10日	会津心臓病・心血管疾患研究会	わかまつインターベンションクリニック
12月11日	第34回福島県放射線治療技術研究会	総合南東北病院がん陽子線治療センター
12月15日	県北地区MR勉強会	福島県立医科大学附属病院
H29年1月 13日	福島県診療放射線技師会選挙管理委員会	太田西ノ内病院
1月14日	福島県画像技術研究会	福島テルサ
1月18日	県北地区MR勉強会	福島県立医科大学附属病院
1月18日	福島放技ニュース 第156号発行	
1月20日	第30回いわき地区画像研究会	グランパークエクセルいわき
1月23日	平成28年度福島県原子力防災訓練に係る第5回関係機関会議	危機管理センタープレスルーム
1月28日	県南地区協議会新年勉強会	ビックアイ

2 月 7 日	新学部設置構想について新里会長と面談（福島県立医科大学新医療系学部準備室長 久保教授、同主事中原氏来訪）	太田西ノ内病院 放射線部
2 月 11 日	平成 28 年度県北地区協議会勉強会	福島テルサ
2 月 18 日	福島県生活習慣病従事者指導講習会（胃がん検診）及び第 33 回消化器研究会	ビックパレットふくしま
2 月 22 日	平成 28 年度相双地区画像勉強会	ロイヤルホテル丸屋
2 月 23 日	平成 28 年度 第 3 回 会津地区協議会委員会	山鹿クリニック 2 階
2 月 24 日	総務企画委員会	福島県立医科大学附属病院
2 月 24 日	第 3 回県南地区協議会	ビックアイ
3 月 4 日	第 5 回救急撮影カンファレンス	ビックパレットふくしま
3 月 11 日	福島核医学サブカルチャーミーティング VOL. 1	竹田綜合病院
3 月 12 日	第 35 回福島県放射線治療技術研究会	総合南東北病院がん陽子線治療センター
3 月 20 日	福島放技ニュース 第 157 号発行	
3 月 24 日	第 4 回福島県診療放射線技師会理事会	福島県立医科大学附属病院
3 月	平成 29 年度事業計画案・予算案の提出 (POSS システム)4	

平成28年度事業報告

1. 定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

<講演会・講習会等>

1) 第29回福島県臨床画像研究会（共催）

開催日 平成28年6月11日 開催場所 福島テルサ

参加者 44名（内会員 30名）

内 容 一般演題

「当院におけるガドピスト初期使用経験」 竹田総合病院 二瓶 秀明

「CMRの有効性について」 白河厚生総合病院 城戸 修

「ガドピストの使用経験－乳房MRIを中心に－」 星総合病院 阿部 祐也

特別講演

「脳の造影MRI－脳転移の抽出・Gdの脳組織への沈着－」

仙台総合放射線クリニック 日向野 修一 先生

2) 医療情報通信セミナー（MICS）

①第24回MICS

開催日 平成28年6月25日 開催場所 星総合病院附属ポラリス看護学院

参加者 51名（内会員 39名）

内 容 技術セミナーⅠ 「ImporterとExporterについて」 FINDEX 長谷川 諒 氏

技術セミナーⅡ 「部門情報システムのこれから」 パナソニック 平川 英寿 氏

技術セミナーⅢ 「GEPACSの最新情報」 GEヘルスケア 大重 智也 氏

フリーディスカッション 星総合病院 続橋 順市

②第25回MICS

開催日 平成28年10月8日 開催場所 星総合病院附属ポラリス看護学院

参加者 29名（内会員 18名）

内 容 技術セミナーⅠ 「キビタン健康ネットの意義と将来の展望」

福島県医療福祉情報ネットワーク協議会 西牧 宏之 氏

施設発表 「当院のPACS運用状況」 谷病院 安斎 幹夫

New Topixセミナー「X線線量情報一元管理システムRadimetricsのご紹介」

日本メドラッド 鈴木 貢 氏

フリーディスカッション 星総合病院 続橋 順市

③第26回MICS

開催日 平成29年2月25日 開催場所 星総合病院附属ポラリス看護学院

参加者 24名（内会員 17名）

内 容 I. ディスカッション

「緊急時における医用画像システムのフォローチャートの構築」

II. フリーディスカッション 星総合病院 続橋 順市

3) 福島救急撮影カンファレンス

①第4回福島救急撮影カンファレンス

開催日 平成28年9月3日 開催場所 コラッセ福島

参加者 87名(内会員 63名)

内 容 Topic「BSL2015 変更点」 福島県保健衛生協会 遠藤 潤
救急実践塾 症例紹介

「活動性出血 出血は急に止まらない」 福島県立医科大学附属病院 伊藤 彩乃

「見えなかった症例と見えたかった症例」 太田西ノ内病院 白石 あゆみ

「こんなのみた事ある? 当院であった稀過ぎる症例」

いわき市立総合磐城共立病院 高岡 俊二

教育講演

「救急X線撮影 老兵の撮影技術を経験してください」

山鹿クリニック 工藤 靖之

特別講演

「救急医療における画像検査のタイミングと意義 ここから始める救急医療のせかい」

福島県立医科大学 災害医療講座 中島 成隆 先生

②第5回福島救急撮影カンファレンス

開催日 平成29年3月4日 開催場所 ビックパレット福島

参加者 77名

内 容 学術情報 富士フィルムR I ファーマ

救急実践塾

「よくある症例=よくある「疾患とは限らない? 技師も広い視野が大切です」

竹田綜合病院 佐藤 貴文

「婦人科臨時手術の症例 実は4日前に」 いわき市立磐城共立病院 渡邊 聖史

「高原骨折の一例」 北福島医療センター 宗川 高広 氏

教育講演

《病院前救護から病院搬送まで 各スペシャリストの活動内容》

「事象直後から車内収容まで」

国際メディカルテクノロジー専門学校

救急救命士 渡部 正宏 氏

「救急車到着直前の対応」

太田西ノ内病院 看護部 國分 秀人 氏

特別講演

「画像のKEYから重症外傷を救え」

済生会横浜市東部病院救急科 船曳 知弘 先生

<分科会・部会活動>

4) 福島県消化器撮影分科会

①第32回消化器研究会及びNP0 法人日本消化器がん検診精度管理評価機構研修会

開催日 平成28年10月1日 開催場所 コラッセふくしま

参加者 88名(内会員 43名)

内 容 講演Ⅰ 「胃 X 線読影 読影力、それが胃がん拾い上げの武器」

青森県総合健診センター 稲葉 雅志 氏

特別講演

「胃がん X 線・病理対比 アウェイのチンピラを読み」

札幌厚生病院 市原 真 先生

胃がん症例検討会 コメンテーター

札幌厚生病院 市原 真 先生

症例提供Ⅰ 会津中央病院 坂本 直彌 氏

症例提供Ⅱ 坪井病院 下山田 明 氏

②福島県生活習慣病従事者指導講習会（胃がん検診）及び第 32 回消化器研究会

開催日 平成 29 年 2 月 18 日 開催場所 ビックパレットふくしま

参加者 61 名（内会員 45 名）

内 容 講演Ⅰ「胃がん検診の現状」

福島県保健衛生協会 亀山 欣之

講演Ⅱ「当協会における精度管理 バリウム付着の現状」

福島県保健衛生協会 遠藤 潤

特別講演

「X 線撮影・読影に役立つ？！胃癌の基礎知識」

公立藤田総合病院 消化器科 佐藤 俊 先生

症例検討会：症例施設

会津中央病院 五十嵐 泰

5) CT 分科会

①平成 28 年度 第 19 回福島県 CT ビギナーズセミナー世話人会

開催日 平成 28 年 6 月 18 日（土） 開催場所 福島テルサ

内 容 昨年度の活動報告、会計報告、会の名称や方向性について

②福島県 CT ビギナーズセミナー県北支部測定講習会

開催日 平成 28 年 10 月 16 日 開催場所 福島県立医科大学附属病院

参加者 17 名（内会員 17 名）

内 容 CTDI 測定実習

6) MRI 分科会

①第 16 回 MRI 技術研究会

開催日 平成 28 年 5 月 28 日（土） 開催場所 福島テルサ

参加者 73 名（内会員 61 名、他県会員 12 名）

内 容 1. 『SAR と B1+rms (B1+rms を中心に)』 GE 福原 大輔 氏

2. シンポジウム 『頭部MRI 検査におけるプラスワン・テクニック』

① MR Spectroscopyの有用性 福島県立医科大学附属病院 金澤 崇史

② MR Cisternographyの有用性 星総合病院 阿部 祐也

③ 頭部MRAスラブ内描出不良に対する検討 渡辺病院 佐藤 奈月

④ Vessel Wall Imagingの有用性 白河厚生総合病院 城戸 修

⑤ 脳梗塞におけるASLの有用性 総合南東北病院 今野 孝志

3. 技術講演 1 『k空間とのぞきあな』東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久

4. 技術講演2 『拡散強調画像の歪みを再確認』 長野市民病院 小林 正人 氏

②福島県MRI技術研究会 前年度学術研究成果発表会

開催日 平成28年11月19日 開催場所 総合南東北病院がん陽子線治療センターホール

参加者 34名 (内会員25名)

内 容 摘要: *1:JSRT,*2:JSMRM,*3:JSRT/0,*4:TRMT

①「MRIにおける至適表示条件の検討」*4 竹田総合病院 二瓶 秀明

②「S-FOVにおけるds-SENSEの有用性」*4 白河厚生総合病院 吉田 友彦

③④⑤「mDIXON-TSE,CHESS 脂肪抑制の検討」

「Multi Breath hold whole heart coronary MRA の検討」*4

「STAR Quant が R2*に与える影響」*4 白河:厚生総合病院 城戸 修

⑥「呼吸運動がDWIに与える影響」*4 福島県立医科大学附属病院 石川 寛延

⑦⑧「先行パルス拡散MRNの検討」*4

「MR 対応人工内耳の安全性検証」*3 北福島医療センター 高橋 大輔

⑨⑩「腰部神経根描出の検討」*3

SDEによる血管,神経分離の検討」*2 北福島医療センター 丹治 一

⑪「Evaluation of the New Functional Magnetic Resonance Contrast
Medium with Androsterone Structure」*1

福島県立医科大学先端臨床研究センター 久保 均

⑫「multi-slice acquisition を用いたfMRIの検討」*4

福島県立医科大学附属病院 :深谷 岳史

⑬⑭「MREの撮像条件による測定値変動要素の検討」*1

「DV25におけるMREの弾性率影響」*4 福島県立医科大学附属病院 金澤 崇史

⑮「MREの測定値比較」*1 福島県立医科大学附属病院 清野 真也

⑯⑰「T1測定に関する基礎的検討」*4

「ECV算出目的としたT1測定精度」*2 福島県立医科大学附属病院 高済 英彰

7) 画像技術分科会

①平成28年度福島県デジタル画像研究会

開催日 平成28年10月1日 開催場所 星総合病院ポラリス保健看護学院

参加者 50名 (内会員30名)

内 容 教育講演 「心臓&冠動脈にマルチモダリティで迫る」

アンギオ担当 シーメンスヘルスケア 富士溪 俊之 氏

核医学担当 GEヘルスケア 庄子 健一 氏

CT担当 東芝メディカル 佐藤 雅浩 氏

MRI担当 フィリップスエレクトロニクス 井上 泰吉 氏

画像処理担当 アミン 須藤 太介 氏

特別講演 「PET/MRIの臨床と臨床研究への応用」

福島県立医科大学 放射線医学講座 伊藤 浩 先生

②第 24 回福島県画像技術研究会

開催日 平成 29 年 1 月 14 日 開催場所 福島テルサ

参加者 74 名（内会員 55 名）

内 容 講演 1 「新たな認定資格（画像等手術支援認定技師）の概要と今後の展望」

国立山形病院 立石 敏樹 氏

講演 2 「脳神経領域における手術支援画像のデータ取得と表示方法」

秋田県立血管研究センター 大村 智巳 氏

特別講演「高精細 3D プリンターを活用した新しい MRI ファントムの作成」

筑波大学 サンバニクス研究センター 五月女 庸作 氏

8) 乳腺画像分科会

①平成 28 年度 第 1 回乳腺画像分科会 委員会 会議

開催日 平成 28 年 5 月 28 日（土） 開催場所 郡山市中央公民館

参加者 世話人 6 名（内会員 6 名）

②第 16 回福島県乳腺画像研究会

開催日 平成 28 年 9 月 1 日 開催場所 福島県農業総合センター

参加者 34 名（内会員 28 名）

内 容 学術情報Ⅰ「超音波診断用造影剤ソナゾイド注射用 16 μ L の有用性について」

第一三共株式会社

学術情報Ⅱ「超広域高感度リニアプローブと Triad Tissue Harmonic Imaging による画像改善」

コニカミノルタジャパン株式会社

研究会 ①「乳腺エコーの画像の特徴－MMG との比較」

北福島医療センター 高橋 遼

②「マンモグラフィーのポジショニングの基礎」

北福島医療センター 平井 和子

実習 各施設画像評価

9) 放射線治療分科会

①第 33 回福島県放射線治療技術研究会

開催日 平成 28 年 7 月 3 日 開催場所 南東北がん陽子線治療センター

参加者 39 名（内 18 名）

内 容 講演1 『ARTISCAN及び関連ファントムとmicroDiamondチェンバー』

講師 ユーロメディテック株式会社 佐久間 慶 氏

講演2 『がん放射線療法看護認定看護師の役割と当院における活動について』

講師 南東北がん陽子線治療センター 緑川 弘子 先生

ミニレクチャー 『治療計画立案の基本とコツ』

講師 南東北がん陽子線治療センター 加藤 貴弘

会員話題提供

1 福島県立医科大学附属病院 : 内沼 良人

2 太田西ノ内病院 : 庭山 洋

- 3 福島県立医科大学附属病院 : 長澤 陽介
- 4 南東北がん陽子線治療センター : 中野渡 優志
- 5 南東北がん陽子線治療センター : 武政 公大
- 6 福島県立医科大学附属病院 : 岡 善隆

②第 34 回福島県放射線治療技術研究会

開催日 平成 28 年 12 月 11 日 開催場所 南東北がん陽子線治療センター

参加者 29 名（内会員 14 名）

内 容 講演 I 「IMRTQA/In-vivo 線量検証ソフトウェア Dosimetry Check について」

東洋メディック 黒田 武弘 氏

講演 II 「線量検証用 IQM と統合的認証照合が可能な IDENTiFY のご紹介」

エイペックスメディカル 川上 秀之 氏

会員話題提供

- 1 福島県立医科大学附属病院 : 長澤 陽介
- 2 太田西ノ内病院 : 庭山 洋
- 3 福島県立医科大学附属病院 : 高野 基信
- 4 南東北がん陽子線治療センター : 新井 一弘
- 5 福島県立医科大学附属病院 : 岡 善隆
- 6 南東北がん陽子線治療センター : 小森 慎也

③第 35 回福島県放射線治療技術研究会

開催日 平成 29 年 3 月 12 日 開催場所 南東北がん陽子線治療センター

参加者 15 名（内会員 9 名）

内 容 特別講演「放射線治療よもやま話 治療技師は何を目指すべきか？」

日立製作所 薮田 和利 氏

一般講演「外部放射線治療における呼吸性移動対策の実際」

南東北がん陽子線治療センター 加藤 貴弘

会員話題提供

- 1 福島県立医科大学附属病院 : 長澤 陽介
- 2 太田西ノ内病院 : 庭山 洋

10) 福島県放射線管理士部会

開催日 平成 28 年 8 月 20 日 開催場所 郡山商工会議所

参加者 31 名（内会員 16 名、（宮城県・山形県・群馬県が各 1 名、神奈川県が 9 名、医大医師 1 名）

内 容 第 1 部 放射線被ばく相談について

- 1 「放射線被ばく相談員」のススメ 公立岩瀬病院 真船 浩一
- 2 田村市 WBC 結果説明を経験して 田村市都路診療所 菅野 修一
- 3 放射線管理士の責務と放射線業務に対する第三者認定制度 聖マリアンナ医科大学 佐藤 寛之

第 2 部 管理士部会活動報告とスクリーニング検査

- 1 「神奈川県放射線管理士部会活動の目指すところは」

神奈川県放射線管理士部会 会長 濱田 順爾 氏

2 「福島県管理士部会 原子力防災住民避難訓練参加報告」

福島県放射線管理士部会 佐久間 守雄

NAS チーム（横須賀三浦原子力災害特別派遣チーム）のセグメント法の紹介及び実習

1 セグメント法の紹介 済生会横浜市東部病院 橋本 輝美 氏

2 セグメント法の実習 川崎市立多摩病院 吉田 篤史 氏

特別講演・実習「東日本大震災から5年を経て診療放射線技師に求めること」

福島県立医大災害医療総合学習センター 副センター長 熊谷 敦史 先生

1 1) 各地区協議会研究会等

①平成28年度 会津地区乳房研究会

開催日 平成28年5月26日 開催場所 竹田総合病院総合医療センター画像診断センター

参加者 参加者17名（内会員14名）

内 容 平成28年度会津若松市乳がん検診読影会について

「ソフトコピー施設認定取得の取り組みと結果」

②第90回 会津画像研究会

開催日 平成28年7月1日 開催場所 会津医療センター

参加者 参加者18名（内会員17名）

内 容 1「ゾーフィゴの製品紹介」 バイエル薬品 松成 健 氏

2「実物大臓器モデル作成のためのデータ処理と出力方法の選択」

キャノンライフケアソリューションズ 後藤 秀基 氏

③県南地区サマーセミナー

開催日 平成28年7月30日 開催場所 ビックアイ（郡山市）

参加者 36名（内会員25名）

内 容 講演Ⅰ「次世代のMR高速撮像技術」 GEヘルスケア 名内 在人 氏

講演Ⅱ「シーメンスCT装置の最新技術」 シーメンスヘルスケア 松浦 孝俊 氏

④夏季勉強会

開催日 平成28年8月27日 開催場所 福島テルサ

参加者 38名（内会員26名）

内 容 「業務拡大に係る統一講習会について」

福島県診療放射線技師会 会長 新里 昌一

「外科医が望む画像とは」 福島県立医大 器官制御外科講座 門馬 智之 先生

⑤第91回会津画像研究会

開催日 平成28年10月27日 開催場所 会津中央病院

参加者 10名（会員数10名）

内 容 演題1「非イオン性等浸透圧造影剤 ビジパークについて」

第一三共 成谷 光造 氏

演題2「対外衝撃波結石破砕術 ESWL 始めました」 会津中央病院 白岩 修二 氏

⑥県南地区新年勉強会

開催日 平成 29 年 1 月 28 日 開催場所 ビックアイ（郡山市）

参加者 48 名（内会員 33 名）

内 容 情報提供「大腸 CT 用傾向造影剤コロフオート内服懸濁液について」

伏見製薬 安藤 伸夫 氏

施設発表「大腸 CT 運用までの経緯と検査成功の秘訣」

「前処置」

公立岩瀬病院

佐藤 智恵子

「送気」

鹿島厚生病院

田代 和弘

「画像構築」

会津医療センター

菅野 朋史

「撮影・総論」

北福島医療センター

松井 大樹

⑦第 92 回 会津画像研究会

開催日 平成 29 年 2 月 9 日 開催場所 竹田綜合病院 総合医療センター

参加者 18 名（会員数 18 名）

内 容 1. 「メドラッドとの法人統一及び製品紹介」

バイエル 安達 恭幸 氏

2. 「血管撮影装置更新後の初期使用経験」

竹田綜合病院 金田 智樹

3. 血管撮影室見学

⑧平成 28 年度県北地区協議会勉強会

開催日 平成 29 年 2 月 11 日 開催場所 福島テルサ

参加者 49 名（内会員 35 名）

内 容 「FPD パネルについて」

講演者 コニカミノルタジャパン株式会社

富士フィルムメディカル株式会社

キヤノンライフケアソリューションズ株式会社

（2）診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

1）一般公開講演会（主催）

①定時総会時の一般公開講演

開催日 平成 28 年 5 月 28 日 開催場所 郡山市中央公民館・勤労青少年ホーム

参加者 45 名（内会員 40 名）

内 容 ふくしまボンガーズ「県内外から見た福島」

②学術大会前の一般公開講演

開催日 平成 28 年 11 月 6 日 開催場所 星総合病院ポラリス保健看護学院ホール

参加者 220 名（内会員 163 名）

内 容 「家庭でもできる腰痛の対処法」

福島県立医科大学医学部整形外科学講座 大谷 晃司 先生

2）リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 福島に広告掲載

開催日 平成 28 年 9 月 10-11 日 開催場所 とうほくみんなのスタジアム

3）健康フェスタ 2016（福島市）

開催日 平成 28 年 8 月 7 日 開催場所 MAX 福島

参加者 会員 8 名 (延べ)

4) 第 32 回会津若松市健康まつり

開催日 平成 28 年 10 月 23 日 開催場所 会津若松市 文化センター

参加者 会員 12 名

5) ピンクリボンスマイルウォーク仙台

開催日 平成 28 年 10 月 29 日 開催場所 勾当台公園 (宮城県仙台市)

参加者 会員 2 名 (代表者)

6) 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山 2016」

開催日 平成 28 年 10 月 23 日 開催場所 星総合病院ポラリス保健看護学院ホール

参加者 会員の参加はなし

7) メディカルクルエーションふくしま 2016 (共催)

開催日 平成 28 年 11 月 25-26 日 開催場所 ビックパレットふくしま

(3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業

1) フレッシュアップセミナーの開催 (日本診療放射線技師会からの委託事業)

開催日 平成 28 年 6 月 12 日 開催場所 太田西ノ内病院

参加者 25 名 (1 年目 24 名)

内 容 新人診療放射線技師を対象にして、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチ
ケ

ット・マナー及び、診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の講習を行った。

2) 基礎技術講習 (消化管撮影) (日本診療放射線技師会からの委託事業)

開催日 平成 28 年 7 月 24 日 開催場所 福島県立医科大学附属病院

参加者 27 名 (内会員 25 名)

内 容	「X 線透視撮影装置の基礎知識」	東芝メディカルズ	田部井 久夫 氏
	「撮影技術-1 造影剤・鎮痛剤・下剤」	カイゲンファーマ	永長 正樹 氏
	「撮影技術-2 上部消化管」	福島県保健衛生協会	半澤 俊和 氏
	「撮影技術-3 下部消化管」	森消化器内科外科	川崎 将 氏
	「画質・性能評価」	大原医療センター	堀江 常満
	「被曝管理」	星総合病院	佐久間 守雄
	「読影とレポートニング」	森消化器内科外科	川崎 将 氏
	「受診者管理」	福島県保健衛生協会	遠藤 潤
	「確認テスト」「修了証授与」		

3) 第 5 回東北放射線医療技術学術大会 (共催)

開催日 平成 28 年 10 月 22-23 日 開催場所 秋田市にぎわい交流館 AU

内 容 テーマ 今を究める Feel the Future

4) 平成 28 年度福島県放射線技師学術大会の開催 (主催)

開催日 平成 28 年 11 月 6 日 開催場所 星総合病院ポラリス保健看護学院メグレスホール

参加者 220 名（内会員 163 名）

内 容 一般公開講演 「家庭でもできる腰痛の対処法」

福島県立医科大学 医学部 整形外科科学講座 大谷 晃司 先生

ランチョンセミナー 「急性腹症の画像診断 CT プロトコルの考え方と診断のツボ」

聖マリアンナ医科大学 救急医学 松本 純一 先生

一般演題 39 題（口述 33 題、ポスター 6 題）

5) 技師法改正に伴う統一講習会（日本診療放射線技師会からの委託事業）

①会津地区 開催日 平成 28 年 7 月 17- 18 日 開催場所 竹田総合病院

参加者 受講者 40 名

②県南地区 開催日 平成 28 年 8 月 6-7 日 開催場所 星総合病院

参加者 受講者 19 名

③県北地区 開催日 平成 28 年 9 月 24-25 日 開催場所 福島県立医科大学附属病院

参加者 受講者 16 名

④浜通地区 開催日 平成 28 年 11 月 26-27 日 開催場所 いわき市立総合磐城共立病院

参加者 受講者 46 名

6) 第 1 回 東北地区合同勉強会（共催）

開催日 平成 28 年 8 月 20 日 開催場所 東北大学医学部星陵会館

内 容 「0 から学ぼう乳腺」

（4）診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業

1) X線アナライザー「ピラニア」の貸し出しと精度管理

事業内容 各地区等に随時貸し出し

2) 平成 28 年度福島県原子力防災住民避難訓練

開催日 平成 28 年 10 月 22 日

開催場所 小野町民体育館・B&G 海洋センター・会津大学講堂

参加者 会員 14 名

内 容 福島県原子力防災訓練での避難住民へのスクリーニング、大型バス測定等

3) 平成 28 年度 福島県原子力防災訓練に係る事前打ち合わせ及びスクリーニング講習」

開催日 平成 28 年 10 月 2 日 開催場所 星総合病院

参加者 会員 7 名

内 容 ①平成 28 年度福島県原子力防災訓練の概要 変更点を主として

福島県診療放射線技師会 会長 新里 昌一

②スクリーニング法の説明と実習

福島県診療放射線管理士部会 会長 佐久間 守雄

4) 原子力安全協会 避難解除地域帰還者 WBC 想定結果説明要員の派遣

①田村市「平成 28 年度第 1 回 WBC による内部被ばく線量測定」

参加者 平成 28 年 4 月 21 日

開催場所 田村市都路町

参加者 会員 1 名

②田村市「平成 28 年度第 2 回 WBC による内部被ばく線量測定」

参加者 平成 28 年 11 月 5 日 開催場所 田村市都路町 参加者 会員 1 名

5) 平成 28 年度第 1 回災害対策委員会会議

開催日 平成 28 年 8 月 6 日 開催場所 日本診療放射線技師会本部

出席者 会員 1 名（代表）

6) 平成 28 年度多数傷病者対応訓練

開催日 平成 28 年度 11 月 1 日 開催場所 双葉地方広域市町村圏組合消防本部

参加者 250 名（会員 1 名）

内 容 避難指示準備区域内における環境放射線測定および個人被ばく線量測定

（6）その他の目的を達成するために必要な事業

1) 第 71 回（平成 28 年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会

開催日 平成 28 年 5 月 28 日（土）

開催場所 郡山中央公民館・勤労青少年ホーム

内 容 会員総数 622 名中、総会参加者 63 名、有効委任状出席者 450 名（出席者合計 513 名）
の出席で開催され、提案させた議案は全て原案通り可決された。

2) 理事会の開催

平成 28 年 6 月 24 日 平成 28 年度第 1 回理事会 （福島県立医科大学附属病院）

平成 28 年 9 月 2 日 平成 28 年度第 2 回理事会 （太田西ノ内病院）

平成 28 年 12 月 2 日 平成 28 年度第 3 回理事会 （太田西ノ内病院）

平成 29 年 3 月 24 日 平成 28 年度第 4 回理事会 （福島県立医科大学附属病院）

3) 執行部会の開催

平成 28 年 11 月 30 日 平成 28 年度第 1 回執行委員会 （福島県立医科大学附属病院）

4) 各地区協議会会議の開催

①全体会（総会）

平成 28 年 4 月 20 日 県南地区（ビックアイ） 出席者 21 名、委任状 151 名

平成 28 年 4 月 23 日 会津地区（ホテル ニューパレス） 出席者 20 名、委任状 52 名

平成 28 年 4 月 23 日 浜通り地区（いわき市立総合磐城共立病院）

出席者 22 名、委任状 87 名

平成 28 年 4 月 26 日 県北地区（福島県立医科大学附属病院）

出席者 24 名、委任状 102 名

②地区協議会委員会

平成 28 年 6 月 22 日 第 1 回県南地区協議会委員会 （ビックアイ）

平成 28 年 6 月 28 日 第 1 回会津地区協議会委員会 （山鹿クリニック）

平成 28 年 7 月 8 日 第 1 回県北地区協議会委員会 （福島県立医科大学附属病院）

平成 28 年 9 月 26 日 第 2 回会津地区協議会委員会 （山鹿クリニック）

平成 28 年 11 月 16 日 第 2 回県南地区協議会委員会 （ビックアイ）

平成 28 年 12 月 9 日 第 2 回県北地区協議会委員会 （福島県立医科大学附属病院）

平成 29 年 2 月 23 日 第 3 回会津地区協議会委員会

(山鹿クリニック)

平成 29 年 3 月 3 日 第 3 回県北地区協議会委員会

(福島県立医科大学附属病院)

5) その他の会議

①平成 28 年度福島県原子力防災訓練に係る関係機関会議（担当者派遣）

第 1 回 開催日 平成 28 年 6 月 17 日 開催場所 杉妻会館

第 2 回 開催日 平成 28 年 7 月 20 日 開催場所 楡葉原子力災害対策センター

第 3 回 開催日 平成 28 年 8 月 26 日 開催場所 福島テルサ

第 4 回 開催日 平成 28 年 9 月 26 日 開催場所 危機管理センタープレスルーム

第 5 回 開催日 平成 29 年 1 月 23 日 開催場所 危機管理センタープレスルーム

第 1 回通信訓練 開催日 平成 28 年 5 月 24 日 (会長)

第 2 回通信訓練 開催日 平成 28 年 8 月 29 日 (会長)

第 3 回通信訓練 開催日 平成 29 年 3 月 1 日 (会長)

6) 委員会の活動

①総務企画委員会（拡大）

平成 29 年 2 月 24 日 委員会開催 平成 29 年度事業計画案・予算案の審議等

②表彰委員会

平成 28 年度 (公社) 日本診療放射線技師会 永年勤続 (30 年) 表彰者推薦

平成 28 年度 (公社) 福島県診療放射線技師会 永年勤続 (20 年) 表彰の審議・決定並びに
(公社) 福島県診療放射線技師会功労表彰者の決定

③学術委員会

平成 28 年度福島県診療放射線技師学術大会の開催・プログラム編集及び発送
学術奨励賞各賞の選考

④ネットワーク委員会

メールマガジンの発行

福島県診療放射線技師会ホームページの更新作業（各研究会案内・求人依頼等）

メーリングリストの運営管理

⑤精度管理委員会

- ・ X 線アナライザーの精度管理調査、
- ・ 精度管理調査報告（本会学術大会、ホームページ等）
- ・ X 線アナライザーの管理と貸し出し

⑥編集広報委員会

- ・ 平成 28 年 5 月 28 日（土） 委員会開催
- ・ 会報の発行 第 53 号
- ・ 福放技ニュースの発行 152 号、153 号、154 号、155 号、156 号、157 号
- ・ 技師会啓発用頒布品（クリアーファイル、ポケットティッシュ）作成

⑦生涯教育委員会

- ・ フレッシュヤーズセミナーの開催
- ・ 技師法改正に伴う統一講習会の開催（4 回）

- ・東北各県での統一講習会への講師派遣
- ・県内各研究会での参加者チェックと日放技への申請等

⑧災害対策委員会

- ・平成 28 年度福島県原子力防災住民避難訓練への参加
- ・訓練事前会議への参加

⑨選挙管理委員会

平成 29 年度定時総会での選挙準備

8) 部会報告

放射線管理士部会

- ・平成 28 年度福島県原子力防災住民避難訓練への準備・参加
- ・第 4 回福島県放射線管理士セミナーの開催（神奈川県との共催）
- ・避難指示解除地域の線量把握事業への協力
- ・放射線利用に関する啓発活動

9) ニュース・会報の発行

①平成 28 年度 福島県診療放射線技師会ニュース発行

- 152 号 平成 28 年 5 月 20 日発行 巻頭言 平井副会長
- 153 号 平成 28 年 7 月 22 日発行 巻頭言 新里会長
- 154 号 平成 28 年 9 月 20 日発行 巻頭言 遊佐副会長
- 155 号 平成 28 年 11 月 22 日発行 巻頭言 平井副会長
- 156 号 平成 29 年 1 月 18 日発行 巻頭言 新里会長
- 157 号 平成 29 年 3 月 20 日発行 巻頭言 遊佐副会長

②会報発行

平成 29 年 3 月 31 日 第 53 号

10) 会員に対する表彰（敬称略）

①（公社）福島県診療放射線技師会 永年勤続（20 年）表彰

- ・県北地区

相田 誠	福島第一病院
安藤智則	大原総合病院
斎藤聖二	須川診療所
高木理子	上松川診療所
高木 忍	セイントクリニック
半沢俊和	福島県保健衛生協会
- ・県南地区

大場正勝	太田総合病院附属太田熱海病院
増子和弘	脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
斎藤二央	脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
國分美加	脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
佐藤知恵子	公立岩瀬病院
真船浩一	公立岩瀬病院
長谷川栄寿	公立岩瀬病院

	鈴木貴志	須賀川病院
	松木秀一	白河厚生総合病院
	白岩 武	福島県保健衛生協会県南地区センター
・会津地区	平澤康浩	飯塚病院附属有隣病院
	松野佳子	竹田総合病院
・浜通地区	田代和弘	鹿島厚生病院
	岩倉美紀	福島県保健衛生協会いわき地区センター
	舘山朋幸	大町病院
	三浦智弘	福島労災病院
	内山知子	松村総合病院

②（公社）日本診療放射線技師会 永年勤続（50年）表彰

- ・県南地区 荒井忠一

③（公社）日本診療放射線技師会 永年勤続（30年）表彰

・県北地区	池田正光	福島県立医科大学附属病院
	菅野由美子	福島県保健衛生協会
	小林哲司	東日本診療所
	渡辺道治	栴記念病院
	川名 豊	二本松病院
・県南地区	荻野泰寛	公立小野地方総合病院
	篠原宏幸	白河病院
	中里史郎	桑野協立病院
・会津地区	伊藤公一	竹田総合病院
・浜通地区	池田昭文	渡辺病院
	池田 彰	石井脳神経外科眼科病院
	大井和広	小野田病院
	末永徳明	織内医院

④平成 28 年度学術奨励賞各賞

学術奨励賞

- ・血管撮影 「CBCT における造影法の検討」
太田西ノ内病院 ○大原 亮平、深谷 理人
- ・放射線治療 「人工ダイヤモンド検出器の有用性の検討」
福島県立医科大学附属病院 ○長澤 陽介 矢部 重徳、原田 正紘、内沼 良人
山田絵里佳、岡 善隆、高野 基信、佐藤 孝則
- ・CT 「回旋流型 Tube 使用時の造影剤時間濃度曲線」
大原記念財団 画像診断センター ○村松 駿、森谷 浩史*1、堀江 常満
林下 幸生 *1 放射線科医師
- ・一般・マンモ 「腰椎立位撮影の検討」
塙厚生病院 ○石森 光一、吾妻 美幸、増子 英教、吉田 友彦、永山 雄三

川上 典孝、本田 貴之、知々田 勝之、北島 潔

- ・ R I 「骨 SPECT 定量画像における円柱法による BCF 測定の検討」

星総合病院 ○玉根 勇樹、続橋 順市、佐久間 守雄、緑川 鮎美

阿部 祐也、澁井 政人

- ・ 管理・災害 「X 線防護衣の管理について」

星総合病院 ○国分 達郎、澁井 政人、佐々木和哉、続橋 順市、白石 嘉博

学術奨励新人賞

- ・ 局所進行膵癌に対する陽子線治療における線量処方の不確かさに関する検討

南東北がん陽子線治療センター ○武政 公大、加藤 貴弘、松本 拓也、三木 史行

鈴木 正樹、遠藤 浩光、齋藤 二央

【学術奨励賞論文賞】

- ・ 1.5 T MR 装置における条件付き MRI 対応人工内耳の安全性に関する検証

高橋大輔 1 小倉明夫 2 林則夫 2 清野真也 3 河合良介 4 松田豪 5 土井司 6 土橋俊男 7

1 公益財団法人仁泉会北福島医療センター放射線技術科

2 群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部

3 福島県立医科大学附属病院放射線部

4 メドエルジャパン株式会社

5 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

6 大阪大学医学部附属病院医療技術部

7 日本医科大学付属病院放射線科

1 1) 相互扶助事業（慶弔）

お悔み（県南 1 件・県北 1 名）

2. 庶務報告

会員動向（平成 29 年 3 月 31 日現在）

正会員数	平成 28 年度当初	6 2 3 名
	平成 28 年度末	6 2 7 名
	入会	2 5 名（転入等を含む）
	退会	2 1 名（転出等を含む）
	名誉会員数	8 名
	賛助会員数	2 3 社

第1号議案 平成28年度 決算報告

貸 借 対 照 表

公益社団法人福島県診療放射線技師会
全事業所

[税込] (単位：円)
平成29年3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	589,690	1,058,668	△ 468,978
未収金	572,000	572,000	0
流動資産合計	1,161,690	1,630,668	△ 468,978
2. 固定資産			
特定資産			
(事務所拡充積立資産)	17,600,000	16,600,000	1,000,000
(学術奨励積立資産)	1,900,000	1,700,000	200,000
(減価償却特定資産)	4,784,189	3,841,817	942,372
特定資産合計	24,284,189	22,141,817	2,142,372
その他固定資産			
什器備品	1,637,304	2,579,677	△ 942,373
電話加入権	40,000	40,000	0
その他固定資産合計	1,677,304	2,619,677	△ 942,373
固定資産合計	25,961,493	24,761,494	1,199,999
資産合計	27,123,183	26,392,162	731,021
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	82,000	-	82,000
流動負債合計	82,000	-	82,000
2. 固定負債	-	-	-
負債合計	82,000	-	82,000
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	26,941,183	26,292,162	649,021
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	△ 24,184,189	△ 22,041,817	△ 2,142,372
2. 指定正味財産	100,000	100,000	0
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	△ 100,000	△ 100,000	0
正味財産合計	27,041,183	26,392,162	649,021
負債及び正味財産合計	27,123,183	26,392,162	731,021

正味財産増減計算書

[税込] (単位：円)

	当年度	前年度	
公益社団法人福島県診療放射線技師会	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日	増減
I 一般正味財産の部			
【経常収益】			
【特定資産運用収入】			
特定資産運用利益	5, 539	4, 950	589
【受取会費】			
正会員受取会費	5, 980, 000	6, 020, 000	△ 40, 000
賛助会員受取会費	750, 000	660, 000	90, 000
【事業収益】			
出版広報事業広告収益	160, 000	160, 000	-
学術研修事業広告収益	500, 000	410, 000	90, 000
学術研修事業受講料収入	59, 000	48, 000	11, 000
日放技業務受託料収入	226, 925	314, 600	△ 87, 675
福島県業務受託料収入	82, 000	82, 000	-
【その他収益】			
受取 利息	42	370	△ 328
経常収益 計	7, 763, 506	7, 699, 920	63, 586
【経常費用】			
【事業費】			
厚 生 費	120, 713	-	120, 713
旅費交通費	484, 130	684, 280	△ 200, 150
通信運搬費	406, 703	406, 220	483
減価償却費	767, 947	932, 184	△ 164, 237
消耗品 費	43, 466	49, 712	△ 6, 246
修 繕 費	159, 840	156, 924	2, 916
保 険 料	15, 980	18, 140	△ 2, 160
会 議 費	470, 237	761, 481	△ 291, 244
諸 謝 金	344, 644	559, 055	△ 214, 411
印刷製本費	1, 021, 248	1, 190, 344	△ 169, 096
広 報 費	533, 006	424, 165	108, 841
支払負担金	10, 000	-	10, 000
支払助成金	265, 000	-	265, 000
事業費 計	4, 642, 914	5, 182, 505	△ 539, 591
【管理費】			
会員厚生費	-	50, 769	△ 50, 769

委託報酬手数料	403,572		447,528	△	43,956
会 議 費	285,012		311,635	△	26,623
旅費交通費	820,440		1,089,980	△	269,540
減価償却費	174,426		98,430		75,996
諸 謝 金	16,000		-		16,000
通信運搬費	123,319		162,154	△	38,835
消耗品 費	163,783		233,783	△	70,000
賃 借 料	96,000		96,000		-
諸 会 費	136,800		146,800	△	10,000
租税 公課	1,600		-		1,600
保 險 料	50,410		-		50,410
支払寄付金	136,683		-		136,683
雑 費	63,526		78,212	△	14,686
管理費 計	2,471,571		2,715,291	△	243,720
経常費用 計	7,114,485		7,897,796	△	783,311
当期経常増減額	649,021	△	197,876		846,897
基本財産評価損益等	-		-		-
特定資産評価損益等	-		-		-
投資有価証券評価損益等	-		-		-
【経常外収益】	-		-		-
【経常外費用】	-		-		-
他会計振替額					-
当期一般正味財産増減	649,021	△	197,876		846,897
一般正味財産期首残高	26,292,162		26,490,038	△	197,876
一般正味財産期末残高	26,941,183		26,292,162		649,021
II 指定正味財産増減の部					
【受取寄付金】					
指定寄付金					
当期指定正味財産増減	-		100,000	△	100,000
指定正味財産期首残高	100,000		-		100,000
指定正味財産期末残高	100,000		100,000		-
III 正味財産期末残高	27,041,183		26,392,162		649,021

正味財産増減計算書内訳表

[税込] (単位：円)

公益社団法人福島県診療放射線技師会

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
【経常収益】			
【特定資産運用収入】			
特定資産運用利益	5, 539		5, 539
【受取会費】			
正会員受取会費	2, 990, 000	2, 990, 000	5, 980, 000
賛助会員受取会費	375, 000	375, 000	750, 000
【事業収益】			
会報広告料	160, 000		160, 000
学術大会広告掲載料	500, 000		500, 000
生活習慣病検診従事者指導講習会受講料	59, 000		59, 000
日放技事務業務受託料	78, 800		78, 800
フレッシュャーズセミナー受託料	55, 440		55, 440
統一講習会受託料	92, 685		92, 685
生活習慣病検診従事者講習会受託料	82, 000		82, 000
【その他収益】			
受取 利息		42	42
経常収益 計	4, 398, 464	3, 365, 042	7, 763, 506
【経常費用】			
【事業費】			
厚生 費	120, 713		120, 713
旅費交通費	484, 130		484, 130
通信運搬費	406, 703		406, 703
減価償却費	767, 947		767, 947
消耗品 費	43, 466		43, 466
修 繕 費	159, 840		159, 840
保 險 料	15, 980		15, 980
会 議 費	470, 237		470, 237
諸 謝 金	344, 644		344, 644
印刷製本費	1, 021, 248		1, 021, 248
広 報 費	533, 006		533, 006
支払負担金	10, 000		10, 000
支払助成金	265, 000		265, 000
事業費 計	4, 642, 914	-	4, 642, 914
【管理費】			
委託報酬手数料		403, 572	403, 572

会 議 費		285,012	285,012
旅費交通費		820,440	820,440
減価償却費		174,426	174,426
通信運搬費		123,319	123,319
消耗品 費		163,783	163,783
賃 借 料		96,000	96,000
諸 会 費		136,800	136,800
保 險 料		50,410	50,410
支払寄付金		136,683	136,683
諸 謝 金		16,000	16,000
租税 公課		1,600	1,600
雑 費		63,526	63,526
管理費 計		2,471,571	2,471,571
経常費用 計	4,642,914	2,471,571	7,114,485
当期経常増減額	△ 244,450	893,471	649,021
他会計振替額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	△ 244,450	893,471	649,021
一般正味財産期首残高			26,292,162
一般正味財産期末残高			26,941,183
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
【受取寄付金】			
当期指定正味財産増減額	-	-	0
指定正味財産期首残高	100,000	-	100,000
指定正味財産期末残高	100,000	-	100,000
正味財産期末残高			27,041,183

*受取会費は公益目的事業会計(共通)に50%、法人会計に50%の割合で按分している

財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

平成 28 年 3 月 31 日 現在

【継続企業の前提に関する注記】

該当事項なし

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、「公益法人会計基準」

(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正内閣府公益認定等委員会) によっています。

(1). 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(3). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法によっています。

(4). 引当金の計上基準

該当事項なし

(5). 消費税等の会計処理

免税事業者であるため、消費税等の会計処理は税込方式によっています。

【基本財産及び特定資産の増減額及びその残高】

[税込] (単位：円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業所拡充積立資産	16,600,000	1,000,000	-	17,600,000
学術奨励積立資産	1,700,000	200,000	-	1,900,000
減価償却特定資産	3,841,817	942,372	-	4,784,189
合計	22,141,817	2,142,372	-	24,284,189

【基本財産及び特定資産の財源等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	当期末残高	うち指定正味財産からの 充当額	うち一般正味財産からの 充当額	うち負債に対応する 額
特定資産				
事業所拡充積立資産	17,600,000		17,600,000	-
学術奨励積立資産	1,900,000	100,000	1,800,000	-
減価償却特定資産	4,784,189		4,784,189	-
合計	24,284,189	100,000	24,184,189	-

【担保に供している資産】

該当事項なし

【固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高】

[税込] (単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器・備品	6,421,494	4,784,190	1,637,304
事業所拡充積立資産	17,600,000		17,600,000
学術奨励積立資産	1,900,000		1,900,000
減価償却特定資産	4,784,189		4,784,189
合計	30,705,683	4,784,190	25,921,493

【保証債務等の偶発債務】

該当事項なし

【指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳】

該当事項なし

【関連当事者との取引の内容】

該当事項なし

【重要な後発事象】

該当事項なし

付属明細書

公益社団法人福島県診療放射線技師会

平成 29 年 3 月 31 日 現在

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器・備品	6,421,494		－	6,421,494	4,784,190	1,637,304
事業所拡充積立資産	16,600,000	1,000,000	－	17,600,000	－	17,600,000
学術奨励積立資産	1,700,000	200,000	－	1,900,000	－	1,900,000
減価償却特定資産	3,841,817	942,372	－	4,784,189	－	4,784,189
合計	28,563,311	2,142,372	0	30,705,683	4,784,190	25,921,493

【借入金の増減内訳】

該当事項なし

【引当金の増減内訳】

該当事項なし

平成28年度 監査報告

監査報告書

公益社団法人 福島県診療放射線技師会
代表理事 会長 新里昌一 様

私ども監事は、公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第26条および第45条に基づき、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務執行、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査いたしました。その結果について下記の通り報告いたします。

記

1. 事業報告等の監査結果

事業は、事業計画に従い適正に施行されているものと認めます。

2. 貸借対照表、正味財産増減計算書等の監査結果

貸借対照表、正味財産増減計算書およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況について適正かつ正確に示していることを認めます。

以上

平成29年5月1日

監 事 高 橋 宏 和  印

監 事 片 倉 俊 彦  印

第2号議案 平成29年度事業計画 (案)

総括

平成28年度は、米国大統領選挙でのトランプ氏当選、英国での国民投票でのEU離脱と世界規模で激動の年度だった。世界が内向きに動き始めると、危機感を募らせる人も多いと考える。排除より融和が必要だと思うが、世界情勢は混とんとしている。

本会は、今年度改選の年を迎える事になる。新しい役員を迎えて、今までの活動を引き継ぎ継続して行く所存である。各事業は、常設委員会、専門分科会や部会、地区協議会が企画立案して進めて行くが、主だった行事は年間行事予定表に示した。この他にも多くの研究会や講習会があり、福島県診療放射線技師会のホームページを通じて情報発信する。ぜひ活用して、各事業や各種勉強会等への積極的な参加をお願いする。各分科会との関係について曖昧な部分を監事から指摘があり、今後1年を通して検討して行く考えである。

平成28年度も、技師法改正に伴う業務拡大のため統一講習会が全国各地で行われた。診療放射線技師を今後も続けるためにも、技術の向上としても有用である。今年度も県内で2回の開催を予定している。

県内の技師養成学校設立の動きは、平成26年度から有識者会議に斎藤前会長が加わっていた。福島県は、4-5年後に福島県立医科大学に新学部を設置する方針を決めた。技師会としても動向に関心を持ち、今後も協力や応援して行く事に変わりはない。

今年度の県学術大会は、11月頃を予定しているので会員からの演題登録をお願いする。昨年度、試験的に行った機器展示の規模拡大等も検討している。また第7回東北放射線医療技術学術大会は、今年度は青森市で開催されるのでこちらにも演題登録をお願いする。

会報や年6回発行される福島放技ニュースは、技師会の重要な情報発信の基礎になっている。より読みやすい紙面を検討中であり、会誌表紙のカラー化を継続する。

放射線に対する正しい知識の啓発活動は、昨年同様に一般公開講座、各自治体での健康まつりへの参加、ピンクリボン活動等を通じて実施する。また、福島県原子力防災住民避難訓練等に参加すると共に、緊急被ばく医療への貢献やスクリーニング要員の育成、災害時の緊急連絡体制の整備等を進めて行く。技師会の存在意義をアピールするチャンスなので、多くの方に参加して頂きたい。また、原発事故の現状見学を、技師会として東京電力と協議して8月に見学予定をしている。平日1日の見学となるが、ぜひ関心を持ち参加をお願いする。

一昨年度から、日本診療放射線技師会で県技師会のみ会員の会費を取り扱わなくなった。県独自にコンビニ収納代行サービスを導入し、会員の支払いに便宜を図っている。会費納入は、会員の義務であり、商店で商品を買って代金を支払う事と同じである。数年分支払わない会員に対しては、法的な処置を含む断固たる対応して行く。

新しい執行部・理事のもとで、平成29年度の事業も計画通り進め、公益社団法人としての使命を果たし、放射線の正しい知識の啓発、県民の医療の向上に貢献して行く所存である。そのためには、会員の皆様のご理解・ご協力が不可欠であるので宜しくお願いしたい。

平成 29 年度事業計画 (案)

1. 定款に基づく事業

(1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

- 1) 技師法改正に伴う統一講習会 (日本診療放射線技師会からの受託事業)
- 2) 福島県 MRI 技術研究会の開催
- 3) 福島県 CT ビギナーズセミナーの開催
- 4) 福島県臨床画像研究会の開催 (共催事業)
- 5) 福島県デジタル画像研究会の開催
- 6) 福島県乳腺画像研究会及び
- 7) 福島県消化器研究会の開催
- 8) 福島県放射線治療技術研究会の開催
- 9) 福島県診療放射線技師会学術講演会の開催 (共催事業)
- 10) 福島県臨床画像研究会の開催 (共催事業)
- 11) 福島県放射線管理士部会セミナー・研修会の開催
- 12) 各地区協議会主催研究会の開催
- 13) その他、診療放射線技術の向上に関する事業

(2) 診療放射線に関する知識の普及啓発に関する事業

- 1) 県民に対する放射線被ばくや放射線診療に関する啓発活動の実施
- 2) 各自治体が開催する「健康まつり」への参画
- 3) ホームページによる一般向け情報の提供
- 4) その他、診療放射線に関する正しい知識の普及啓発に関する事業

(3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事業

- 1) 福島県診療放射線技師学術大会の開催
- 2) フレッシュアップセミナーの開催 (日本診療放射線技師会からの受託事業)
- 3) 第 7 回東北放射線医療技術学術大会開催協力 (共催事業)
- 4) その他、診療放射線技師による検査技術向上、及び職業倫理の高揚に関する事業

(4) 診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

- 1) 福島県生活習慣病検診従事者指導講習会の開催 (福島県からの受託事業)
- 2) 各施設の X 線撮影装置の精度管理
X線アナライザー「ピラニア」の貸し出しと精度管理
- 3) 福島県内における診療放射線技師の実態調査
- 4) 災害時緊急連絡体制の整備
- 5) 緊急被ばく医療防災事業への協力
 - ①平成 29 年度福島県原子力防災住民非難訓練に参加及び緊急時通信連絡訓練の参加
 - ②避難解除地域帰還者の WBC 測定結果説明への要員派遣
(原子力安全協会からの要請支援)
 - ③福島県緊急被ばく医療活動マニュアル検討部会への参画
 - ④緊急被ばく医療講座・研修会への参加

⑤避難退域時検査要員の育成と派遣

⑥原発の現状見学の企画・参加協力

6) 乳がん啓発キャンペーン ピンクリボン活動への参加協力

7) 各市の乳がん検診読影会への参加協力

8) その他、診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

(5) その他目的を達成するために必要な事業

1) 第72回(平成29年度)公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会の開催

2) 理事会の開催(5回)、執行部会(1回)、各委員会の開催

3) 福島放技ニュース(6回)、会報(1回)の発行

4) 表彰及び他団体での表彰該当者の推薦

5) 会員数増加を目指す勧誘活動

6) ホームページによる会員向け情報の発信

7) ホームページによる求人情報の提供

8) 会員メールマガジン・各委員会メーリングリストの維持管理

9) 年会費納入の推進

10) その他、目的を達成するために必要な事業

以上

平成29年度 年間行事予定表 (案)

下記行事は計画で、諸般の事情により変更する場合があります。

開催	(公社) 福島県診療放射線技師会	(公社) 福島県診療放射線技師会主催外
H29 年 4 月		日本放射線技術学会総会 (横浜)
5 月	定時総会・一般公開講座 (県北) 第 1 回理事会	福島県臨床画像研究会
6 月	福島県 MRI 技術研究会 フレッシュャーズセミナー 福島県 CT ビギナーズセミナー 第 2 回理事会 (太田西ノ内病院) 合同委員会 (太田西ノ内病院)	日本診療放射線技師会創立 70 周年式典 日本診療放射線技師会定期総会
7 月	放射線治療技術研究会 県南サマーセミナー	CT 認定技師更新講習 (福島) 東北MR 技術研究会 (宮城)
8 月	福島原発の現状見学 統一講習会 (県北) 放射線管理士セミナー	
9 月	第 3 回理事会 (太田西ノ内病院) 福島県乳腺画像研究会 統一講習会 (太田西ノ内病院)	東北 C T 技術研究会 第 33 回日本診療放射線技師学術大会 (函館)
10 月	福島県消化器研究会 福島県デジタル画像研究会 救急撮影カンファレンス	日本放射線技術学会秋季学術大会 (広島) ピンクリボン in 郡山 第 6 回東北放射線医療技術学術大会 (青森)
11 月	福島県診療放射線技師学術大会	福島県原子力防災訓練
12 月	第 4 回理事会 (太田西ノ内病院)	
H30 年 1 月	福島県画像技術研究会 県南地区新年勉強会	
2 月	福島県生活習慣病検診従事者講習会及 び消化器研究会	
3 月	第 5 回理事会 (医大)	

第3号議案 平成29年度 収支予算 (案)

平成29年度 見込正味財産増減計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用収入			
特定資産運用利益	10,000	40,000	-30,000
受取会費			
正会員受取会費	6,100,000	5,990,000	110,000
賛助会員受取会費	720,000	750,000	-30,000
事業収益			
出版広報事業広告収益	150,000	200,000	-50,000
学術研修事業広告収益	500,000	400,000	100,000
啓もう普及事業収入	100,000	200,000	-100,000
受取補助金等			
受取福島県助成金	82,000	120,000	-38,000
受取負担金			
委託業務負担金	78,800	70,000	8,800
受取寄付金			
受取寄付金	10,000	10,000	0
雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	1,000	1,000	0
経常収益 計	7,752,800	7,782,000	-29,200
(2) 経常費用			
事業費			
会議費	550,000	550,000	0
旅費交通費	700,000	600,000	100,000
通信運搬費	800,000	800,000	0
減価償却費	1,000,000	1,000,000	0
印刷運搬費	600,000	600,000	0
広報費	450,000	450,000	0
消耗品費	50,000	50,000	0
修繕費	500,000	160,000	340,000
保険料	20,000	20,000	0
諸謝金	350,000	350,000	0
雑 費	100,000	100,000	0
事業費 計	5,120,000	4,680,000	440,000
管理費			
業務委託費	400,000	500,000	-100,000
会議費	300,000	370,000	-70,000
旅費交通費	800,000	880,000	-80,000
通信運搬費	100,000	100,000	0
什器備品費	100,000	250,000	-150,000
減価償却費	10,000	10,000	0
消耗品費	200,000	350,000	-150,000
賃借料	96,000	100,000	-4,000
諸会費	130,000	120,000	10,000
人件費	50,000	100,000	-50,000
保険料	55,000	100,000	-45,000
租税公課	100,000	100,000	0
雑費	200,000	100,000	100,000
管理費 計	2,541,000	3,080,000	-539,000
経常費用 計	7,661,000	7,760,000	-99,000
評価損益等調整前当期経常増減額	91,800	22,000	69,800
基本財産評価損益等		-	-
特定資産評価損益等		-	-
投資有価証券評価損益等		-	-
当期経常増減額	91,800	22,000	69,800

2. 経常外増減の部			
(2) 経常外収益			
経常外費用			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	91,800	22,000	69,800
一般正味財産期首残高	26,292,162	26,096,363	195,799
一般正味財産期末残高	26,383,962	26,118,363	265,599
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	26,383,962	26,118,363	265,599

平成29年度 収支予算内訳表

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用収入			
特定資産運用利益	10,000		10,000
受取会費			
正会員受取会費	3,050,000	3,050,000	6,100,000
賛助会員受取会費	360,000	360,000	720,000
事業収益			
出版広報事業広告収益	150,000		150,000
学術研修事業広告収益	500,000		500,000
啓もう普及事業収入	100,000		100,000
受取補助金等			
受取福島県助成金	82,000		82,000
受取負担金			
委託業務負担金	78,800		78,800
受取寄付金			
受取寄付金	10,000		10,000
雑収益			
受取利息	1,000		1,000
雑収入	1,000		1,000
経常収益 計	4,342,800	3,410,000	7,752,800
(2) 経常費用			
事業費			
会議費	550,000		550,000
旅費交通費	700,000		700,000
通信運搬費	800,000		800,000
減価償却費	1,000,000		1,000,000
印刷運搬費	600,000		600,000
広報費	450,000		450,000
消耗品費	50,000		50,000
修繕費	500,000		500,000
保険料	20,000		20,000
諸謝金	350,000		350,000
雑 費	100,000		100,000
事業費 計	5,120,000	0	5,120,000
管理費			
業務委託費		400,000	400,000
会議費		300,000	300,000
旅費交通費		800,000	800,000
通信運搬費		100,000	100,000
減価償却費		10,000	10,000
什器備品費		100,000	100,000
消耗品費		200,000	200,000
賃借料		96,000	96,000
諸会費		130,000	130,000
保険料		55,000	55,000
人件費		50,000	50,000
租税公課		100,000	100,000
雑費		200,000	200,000
管理費 計	0	2,541,000	2,541,000
経常費用 計	5,120,000	2,541,000	7,661,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-777,200	869,000	91,800
基本財産評価損益等	-	-	0
特定資産評価損益等	-	-	0
投資有価証券評価損益等	-	-	0
当期経常増減額	-777,200	869,000	91,800
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	-777,200	869,000	91,800
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-777,200	869,000	91,800

第4号議案 定款改正について

現行

第5章 役員および職員ならびに顧問
(役員)

第22条 この法人に、次の役員を置く。

2 理事のうち1名を会長とし、2名を副会長とする。

改正 案

2 理事のうち1名を会長とし、**3名**を副会長とする。

改正理由

福島県は県土が広く、福島県診療放射線技師会も県北地区・県南地区・会津地区・相双浜通り地区と4地区に区分けされている。会として事業を計画・執行するにあたり、会長（代表理事）1名と他の3地区から副会長（業務執行理事）を、各1名ずつ計3名を選出して参画することにより、各地区からの意向を反映しやすくなり協力体制も整えられると考える。

また、事業執行を円滑に継続していくために、選挙の際に副会長の中から会長候補者を推薦しているが、副会長を増員することにより諸事情を考慮しやすくなり円滑に進められる。

この定款変更に関しては、福島県地域医療課の担当者にも問い合わせて了承を頂いている。

第5号議案 役員改選

第6号議案 その他

以上